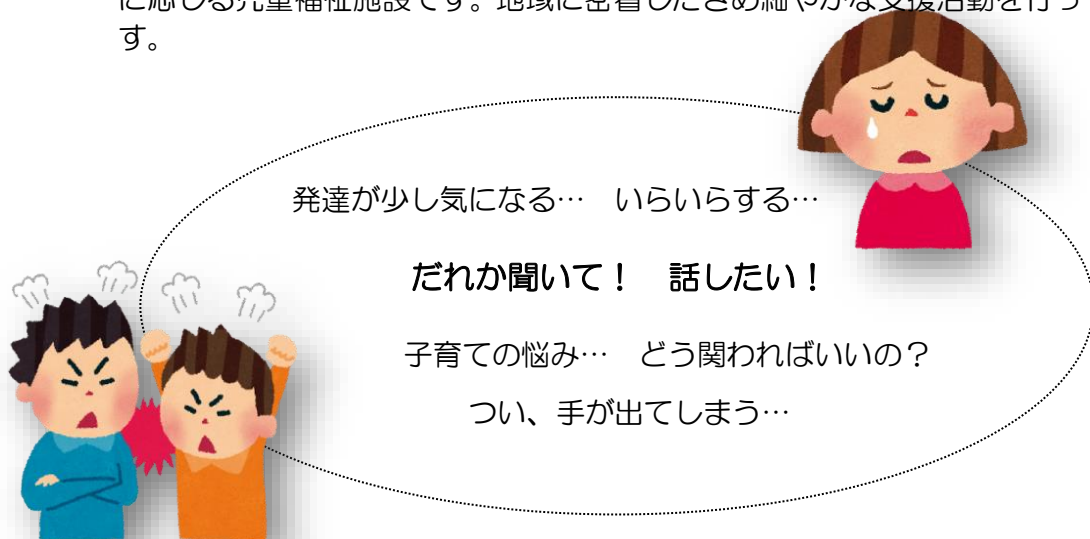


## \*オリーブってどんなところ?...

児童家庭支援センター「オリーブ」は、子どもと家庭に関する問題について相談に応じる児童福祉施設です。地域に密着したきめ細やかな支援活動を行っています。



発達が少し気になる... いらいらする...

だれか聞いて! 話したい!

子育ての悩み... どう関わればいいのか?

つい、手が出てしまう...

~ひとりで悩まないで...家庭のこと、子どものこと、一緒に考えませんか~

- 電話相談・来所相談・訪問相談
  - 相談料無料
  - 秘密厳守
- 必要に応じて臨床心理士によるカウンセリングも行っています。

\*千葉県から委託を受けている第2種社会福祉事業です。

「オリーブ」は、夏休みも通常どおり行なっています。

月・水・木・金・日 9:00~18:00 (祝日も開設)

〒270-0011 松戸市根木内 145 (晴香園内2F)

TEL047-340-1151・1153

### 編集後記

秋です。秋と言えば「秋の子」(すすきの中の子♪から始まる童謡です)と書いたのは確か去年のこと。今年は、秋と言えば、「小さい秋見つけた」にしておきます。同じサトウハチローの作詞ですから。

私が見つけた小さい秋は、先週登った八ヶ岳の一つ、硫黄岳のかすかな紅葉です。ヤマウルシの先端5~6枚だけが赤く色付いていました。しかも1本だけ1枝だけです。真っ赤になって遠くからだれからも「わあ、綺麗!」と言われる紅葉はもちろん素敵です。しかし、その木の前を通った人しかわからない数枚の紅葉の美しさはそれ以上です。「秋、見~つけた!」と小さく呟き、2760m登りきることができました。

「小さい秋」は葉の枚数ではなく、私だけの秋、まだ私しか知らない秋、もっと言えば誰にも教えたくない秋なのかもしれないと思いつつ、「ちいさいあきみつけた♪ちいさいあきみつけた♪」と口ずさみながら少し自慢げに同じ道を下りました。

あなたが見つけた小さい秋は何ですか。



# オリーブの実

2017. 9.25号

発行 児童家庭支援センター オリーブ

松戸市根木内145

TEL 047-340-1151・1153

オリーブへの相談で多いのは、子どもとの関わり方で悩んでいる等、保護者からの相談ですが、ここ何年かの傾向で多くなっているのが、不登校の相談です。不登校の場合、学校に行けない理由は様々ですが、親として強行に行かせるべきか休ませるべきか、休ませたとしてそのままずっと不登校になるのではないかなど、親自身の不安も高くなり、大変悩むところですね。特に、長い夏休みが終わって9月、朝突然ぐずりだしたり、お腹が痛いと訴えたり、ランドセルを背負った途端急に泣きだしたり...、そんな時、親としてどう対処すべきなのか、いったい何ができるのか? 考えてしまいますね。

先日、新聞に不登校経験者の受入れを続けている県内の高校の記事が載っていました。「学び直し」に力を入れ、少人数制授業を実施したり、生徒が相談したい教員を指名するパーソナルチューター制を採る等、相談体制も充実させていて、昨年度の入学者274人中、中学校の3年間で30日以上欠席した不登校経験生徒数は201人(73.4%)、入学後1年次に欠席日数が30日未満となった不登校回復率は、5割を超えたそうです。凄いなと思いました。でも、受験までも繋がらず踏み出せない子もたくさんいます。

子どもたちは、いつどうやって乗り越えるのでしょうか。何かきっかけがあるのでしょうか。親が懸命に言葉をかけたところで学校に行けるとは限りません。頑張っただけで、また行けなくなる可能性だってあるのです。この子の将来はどうなるんだろう。友だちは...、勉強は...、就職は...、親は毎日不安で押し潰されそうになり孤立しがちです。

千葉市で9月に開かれた不登校サポートセミナーでは、かつて長男と長女が不登校だった方が、県の相談補助員として支援活動を行っていて「不登校は出口の見えないトンネルのようで不安だと思います。でも必ず動き出す時が来る。やりたいことが見えた時、子どもは自分で進路を歩んでいきます。」と話していた言葉が心に残りました。

(センター長)

### 親たちの集まりに参加してみませんか...

#### ○不登校問題を考える東葛飾の会「ひだまり」親たちの会

★毎月第2土曜日 13:00~16:00 場所:北松戸「ひだまり」

#### ○『不登校の胸のうちの想い支援の手立てを探る会』柏ゆうび

★奇数月の第2土曜日 14:30~16:30

場所:NPO法人ゆうびちいさな学園 ※詳しくはホームページをご覧ください



# こころのはんもっく



## 褒めるってどういうこと？

「子育てでは褒めることも大事ですよ」とどこかで聞いたり、何かで読んだりしたことがあると思います。でも「褒めるって、何をどのようにするの？」と考えるととても難しいことだと感じます。

ぱっと思いつくのは、「～していい子だね」「～えらいね」でしょうか。  
しかしそれは、評価であって褒めるということとは違うのではないかと思います。

もし使うとしたら「私は～してすごいなと思ったよ」とメッセージにすることも一つの方法かもしれません。それを使わないで褒めるとしたら、どんな方法があるのか考えてみようと思います。

例えば、子どもが朝だいたい時間通りに起きてきて「おはよう」と言えた場面があるとします。

ここでは、「おはようって挨拶したね」「時間通りに起きてきたんだね」「自分一人で起きたんだね」など、具体的に子どもの行動を描写することで、どこを大人が褒めるところと感じているかが子どもにはっきりとわかります。

また、大人が「～を～したんだね」と笑顔で目を見て言うことや、頭をなでながら言うことでその行動がとてもよいことなんだなということが、言葉だけではなく良いイメージで伝えることができます。

また、大人が自分のことを褒めることも必要です。

おうちで決められていることや社会的にやらなければならないことの中に、大人だって相当努力したり、いやだなと思いつながらやっていることがたくさんあると思います。そのことを頑張って実行したとしても、褒められることはおそらくあまりないですね。

でもそれをしていて自分って実はすごいと思うのです。

自分の欲求と、とりあえず折り合いをつけて、社会的ルールを受け入れて、やらなければならないことをしているからです。

朝起きて、食事を作って、その他の家事もして、ああすぐお迎えの時間、となっていく日々を送る大人が自分のことを褒めていくことが必要です。褒める対象は完璧にできていることでなくていいのです。

「忙しい時間だけどいろいろ調整をつけて子どもをお迎えにいった私ってすごい」と自分で自分を褒めてあげましょう。それと同時に自分が折り合いをつけて頑張っているのと同じように、幼い子どもも頑張っていることがなんとなくイメージできてくるのではないのでしょうか。

(心理相談員)



## ☆☆☆根木内こども館リニューアル！！☆☆☆

※小学生以上が集うスペースを晴香園内のカフェ「赤い花 白い花」に作りました。

●開館時間：火～金 15:30～良い子の時間まで  
土・日・長期休み 14:00～良い子の時間まで

本・オセロ・将棋・マンカラ・ジェンガ・ドミノ・トランプ・ぬりえ等があります。  
小学生以上のお子さんの居場所として開放していますので、是非遊びに来て下さい。  
映画の上映やイベントも行っていきます！詳しくはお問い合わせを・・・！

※おやこ DE 広場は、従来通り乳幼児の子育て支援の施設として晴香園内に設置。

●開館時間：月～金 10:00～17:00 (12時～13時はお休み)

※カフェ「赤い花 白い花」では、ワンコインのランチメニューをご用意しています。(カレー、パスタなど)  
またランチタイムに100円ドリンクを注文すれば、持ち込みもできます。  
是非、お友達を誘ってご利用下さい。

晴香園 子育て支援室 TEL 047-315-2985

## 永瀬春美先生の7-Week講座・第2弾が終了しました！

7月6日(木)10:30-12:00に1歳から3歳児の保護者の方を対象に永瀬春美先生をお招きし、「叱りすぎて後悔するけど・・・自分の気持ちを大切にすれば、子どもの気持ちも大切にできる」というテーマで7-Week講座を開催しました。

講座では、丁寧に自分の気持ちを感じる作業から始まりました。  
「叱る→嫌な気持ち(自分を責めてつらくなる)→原因をつくる子どもにイライラ→やめてほしい→もっと強く叱る→もっと嫌な気持ち(もっとひどく自分を傷つける)」という悪循環の構図が見えると、これを断ち切るコツは「自分にやさしくなること」と気づきます。

本当にダメなことを叱るのは予防接種のようなもの。泣かれても親が自分を責めることはありません。  
「この年齢の心の発達を考慮して、禁止事項を減らす(できるだけやらせてあげる)工夫」や「行動を禁じても、そうしたい気持ちは認めてあげる言葉かけ」など、具体例を教えてくださいました。

